

楽住快居

ときめきインテリア

花粉症に悩む人にはつらい季節、ティッシュペーパーは家中で欠かせないアイテムといえる。メーカー各社も、凝った色使いや模様を施したパッケージの製品で競っている。ただ、インテリアにぴったり合った製品を探すのは意外に難しい。そんなとき、出番となるのがティッシュケースだ。

箱のまわりを布で覆ったり木やプラスチックの箱に入れたり、ティッシュペーパーの箱を隠す方法は色々ある。なかでも岩谷マテリアルが販売するティッシュスタンド「TAOG(タオ)」は、シンプルなつくりと存在感が際立つ。

仕組みは簡単だ。

一枚の金属板をS字形に折り曲げ、紙を取り出す細長い穴を



TAOG(タオ) 岩谷マテリアルのデザインプロジェクト「I'm D」から販売されているティッシュスタンド。厚さ6.5㎜までのステンレスタイプ(4515円)と鋼を白く塗装したタイプ(3990円)がある。問い合わせは岩谷マテリアル(☎0120・164・309。http://www.imcjp.co.jp/)

紙の仲間 ②

開けている。ユーザーは、金属板の裏側からティッシュの箱を滑り込ませて固定するだけ。あとは細長い穴からティッシュを引っ張り出せばよい。布をしばったりフタを開けたりといったひと手間すらからず、いたって簡単に箱の入れ替えができる。

使い勝手の特徴は、一般的な横置きに加え、置き場所を取らない縦置きも可能なこと。また、

一枚板のティッシュ箱

箱が斜め上を向くようになってるので、ベッドサイドなどに置いた際にも、ティッシュを引出しやすい。

もともとは、積水ライフテックが主催した「セキスイプロダクトデザインコンペ」で特別賞を受賞した作品だった。デザイナーは福岡市で活動する中庭日出海氏。その後、同社の事業部が岩谷マテリアルに吸収されるという経緯の後に、岩谷マテリアルが進めるデザインプロジェクト「I'm D」の製品として発売されるに至った。

ステンレスのクールな質感を生かしたタイプと、少し温かみを感じさせる白いタイプの二種類を用意している。「より多く出ているのは白いタイプ。三代後半以降のユーザーを中心に、男女問わず売れているという印象です」と、合成樹脂本部長の和久井一郎氏は話す。

製品名のTAOGは聞き慣れない言葉だが、実はGOAT(ヤギ)という英語を逆さから読んだものだ。紙を食べるヤギとは対照的に、言葉をひっくり返したTAOGは口から紙を吐き出していく。ネーミングにも、ちょっとした言葉遊びが隠されている。